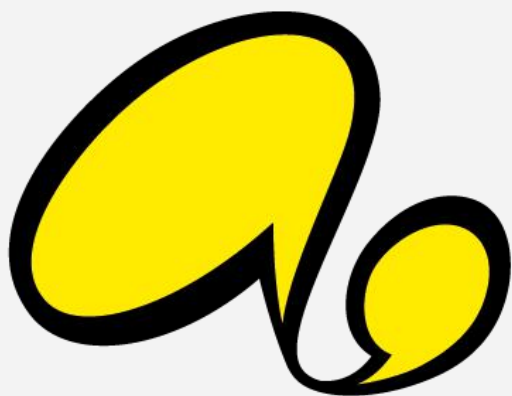


EAMSC 2020 India

January 5-10th, 2020 | New Delhi, India



Asian
Medical
Students'
Association
JAPAN. Since 1986.

AMSA JAPAN

目次

目次	2
会議概要	3
スケジュール	4
プログラム別報告	5
DAY 1	5
DAY 2	6
DAY 3	7
DAY 4	8
DAY 5	9
DAY 6	9
感想	10
①筑波大学医学群医学類3年 森川 綾美	10
②筑波大学医学群医学類3年 添田 桃子	11
③筑波大学医学群医学類3年 渡邊 紗恵	12
④防衛医科大学校医学科3年 原 鈴枝	13
⑤徳島大学医学部医学科1年 安田 拓生	14
⑥琉球大学医学部医学科3年 佐戸 優希	15
⑦筑波大学医学群医学類2年 後藤 凜	16

会議概要

会議名称

33th East Asian Medical Students' Conference 2020 in New Delhi, India

開催地

India (New Delhi)

開催期間

2020年1月5日(日)~1月10日(金)

テーマ

“Emergency Medicine: When Seconds Count...” 「救急医療」

参加者

筑波大学医学群医学類3年 森川 綾美

筑波大学医学群医学類3年 添田 桃子

筑波大学医学群医学類3年 渡邊 紗恵

防衛医科大学校医学科3年 原 鈴枝

徳島大学医学部医学科1年 安田 拓生

琉球大学医学部医学科3年 佐戸 優希

筑波大学医学群医学類2年 後藤 凜

スケジュール



Event Schedule

Schedule						
	5th Jan	6th Jan	7th Jan	8th Jan	9th Jan	10th Jan
0600 - 0700 hrs	Arrival	Morning call				
0700 - 0800 hrs		Breakfast	Yoga	Breakfast	Breakfast	Breakfast
0800 - 0900 hrs		Transfer	Breakfast	Transfer	Transfer	Closing Ceremony
0900 - 1000 hrs		Opening Ceremony	Transfer	Keynote Lecture and Public Poster Competition/ Case Presentation		
1000 - 1100 hrs		Scientific Paper Competition/ Scientific Poster Competition	Academic Workshops		Taj Mahal	Departure
1100 - 1200 hrs						
1200 - 1300 hrs		Lunch		Lunch		
1300 - 1400 hrs						
1400 - 1500 hrs	Registration	Hospital Visits	Lunch	International Booth	Lunch	
1500 - 1600 hrs	Check in		Transfer		Transfer	
1600 - 1700 hrs		Transfer	Cultural Workshop			
1700 - 1800 hrs	Ice Breaking	Sightseeing (Gurudwara Bangla Sahib, Connaught Place)	Transfer	Sightseeing (Kingdom of Dreams)	Rest	
1800 - 1900 hrs			Transfer			
1900 - 2000 hrs	Welcome dinner (Theme- Harry Potter 🍷)	Dinner	Sightseeing (Old Fort)	Dinner	Cultural Night	
2000 - 2100 hrs			Dinner (GM night)			
2100 - 2200 hrs						
2200 - 2300 hrs	Chapter meeting	Chapter meeting	Chapter meeting	Chapter meeting	Farewell party	

プログラム別報告

DAY 1

Welcome Dinner

グループごとに席に着くと、まずインド音楽に合わせた踊りや剣舞が披露されました。また、テーマが『Harry Potter』だったこともあり、杖を持った人やローブを着て仮装している人もおり、本当にハリーポッターの世界に入ったように感じました！

途中でグループごとにIce break としてミニゲームを行う時間があり、同じグループのメンバーと仲良くなるきっかけができてよかったです！

これからの約1週間、たくさんの友達と思い出を作りたいと思います！



DAY 2

Opening Ceremony

学びの象徴として蠟燭に火が灯されました。今回の EAMSC のテーマである救急医療についてのお話を頂きました。



Scientific Paper Competition/ Scientific Poster Competition

日本からは2チームが Scientific Poster Competition に参加し、堂々と発表しました。

Hospital Visit

班によって、病院見学をしたり、応急処置を習ったりしました。

Sightseeing

インド門に行きました。インド国旗の三色に照らされて綺麗でした。

GM Night

レストランバーでインド料理を食べ、グループみんなで踊りました。

DAY 3

Yoga



Academic Workshop

いくつかのグループに分かれ、救急救命・ギプスの巻き方・腹腔鏡手術・薬理学などの内容で講義や実習、ディスカッションを行いました。



Cultural Workshop

Lodhi Garden に行き、インドの文化を体験しました。伝統衣装サリーの試着、ゲーム体験、食べ物の試食、ズンバというダンスの体験を楽しみました。

Sightseeing (Old Fort)

Old Fort に行きました。真っ暗な中、お城の遺跡の建物にプロジェクションマッピングがなされていました。インドの歴史を語る音と光のパフォーマンスを鑑賞しました。



DAY 4

Keynote Lecture and Public Poster Competition/ Case Presentation

勉強法についての講義を受けました。日本は発表は行いませんでしたが、各国の医学生のポスターはどれも視覚に訴えるものとなっていました。

International Booth

各国の伝統的な文化や食べ物などを紹介し合いました。日本からは抹茶やほうじ茶のキットカットを持っていきました。また、名前を平仮名で習字したものをプレゼントしましたが、とても好評でした。

Sightseeing (Kingdom of Dreams)

インド映画でお馴染みのボリウッドダンスを見ることが出来ました！ワイヤーアクションも素晴らしく、軽快な音楽に踊り出す学生もいました。インドのパワーを全身で感じました。

Culture Gully(カルチャー・ガリー)と呼ばれるショッピングパークで夕食を取りました。

DAY 5

Taj Mahal

3つの建物それぞれの説明や、歴史について説明を受け、学ぶことができました。また、壮大なスケールの建物に、皆圧倒されていました。

Cultural Night

各国が歌、ダンスを披露しました。それぞれの国の特徴や、文化について理解することができました。また、わずか1週間の練習でできたものとは思えない程の仕上がりで、盛大に盛り上がりました。

Farewell Party

ホテルの地下にあるクラブでみんなで飲みながら踊りました。そこでも新たな繋がりができ、最後までいい経験ができたと思います。

DAY 6

Closing Ceremony

最終日の今日は、academic delegates への表彰式が行われました。国ごとに受賞したチームが呼ばれ、前に出て賞状を受け取りました。また、先生方の最後の言葉もありました。

全てのプログラム終了後、全ての参加者がお土産を交換したり写真を撮ったりして、別れを惜しましました。

感想

①筑波大学医学群医学類3年 森川 綾美



今回が初めての EAMSC 参加でした。

大学の関係で途中で帰国したため参加出来たのは数日でしたが、アジア各国から集まった医学生と交流するという素晴らしい体験ができました。出会った人々は皆とても英語に堪能で勉強熱心な印象で、自分が今まで学んだことを全然活かせていないことを痛感しました。特にポスター発表ではとても拙い発表となってしまう、あとから『もっとこうすればよかった』など反省点が多くありましたが、ポスターを作り上げられたのはとてもいい経験となりました。

EAMSC を通じて出会えた友人とはこれからも繋がっていたいなと思っています。アジアなら近いので、またどこかで出会えそうだなと思ったり、会いに行きたいなと思ったり。インドにもまた訪れたいです。

もう実習が始まってしまうので EAMSC などに参加するのは難しいとは思いますが、今回自分なりに感じたことを忘れずにいたいと思います。

②筑波大学医学群医学類3年 添田 桃子



今回初めてEAMSCに参加しましたが、期待以上に良い経験をする事が出来たと思います。まずはインドを自分の目で見る事が出来たこと。私は初めて、破れた服を着た子どもから直接物乞いされました。テレビで見るような状況が実際に起きているんだと肌で感じました。次に、インドの病院や大学のトイレなどを見て、日本を含む先進国との違いに驚きました。インドではすぐ進んでいるというシュミレーションの機器の画面は古いものであったし、トイレは流れないのでバケツの水で流したりと、観光客向けでないところはまだまだインフラが整っていない部分があるのだと分かりました。最後に、この旅で得られた最も良かったものは、友達だと思います。日本のメンバーとは新たに知り合い仲良くなれたし、プログラムではアジアの様々な国の人と話して、たくさんの友達を作ることが出来ました。私はEAMSCに参加することが出来て本当に良かったと思います。

③筑波大学医学群医学類3年 渡邊 紗恵



今回の EAMSC は、初めて参加する会議であると同時に、高校3年間住んでいたインドという国を見つめ直す機会でもありました。

会議で最も印象的だったのは、自分も参加したポスター発表でした。初めての挑戦であり、時間内に喋りきるだけでも精一杯で色々と反省点が残りました。同時に、他国の発表を見て、テーマの絞り方や情報の集め方、人前でのプレゼンの仕方など、学べることが多くありました。

また、EAMSC で出会ったアジア各国からの友人たちとの話を通じ、この国がインド人・日本人・他のアジア人の目にどう映るかを比較し考えられました。あるインド人は最高の国だと言う一方、他国の人の中には居心地が悪いと感じる人もいます。この違いは文化によるものか、経済発展の程度によるものか、はたまた個人の感じ方の違いか。答えは出ていませんが、今後インドがどうなっていくかを追いつつ、考えていきたいです。

④防衛医科大学校医学科3年 原 鈴枝



今回の研修で最も実感したことは、他国の学生に比べて日本人が如何に消極的か、ということでした。

上下水道などの公衆衛生や技術面でも日本はいわゆる先進国といわれていますが、普段日本で暮らしていて今回このように他国の学生と関わると、如何に日本人が消極的であるかを実感します。今回出会った学生はみなさん何をするにも楽しそうに取り組み、他人と関わることに積極的でした。このような姿勢が国際的な視点をもつことに繋がるのだと改めて思いました。

私はいつか海外で医療行為を行いたいと思っています。そのために私は、他国の文化をもっと知り、その姿勢を学ぶことが大事だと思いました。今回私は多くの友人と出会い、それぞれの持つ文化を知ることができました。学ぶことはまず知ることから始まるという言葉の通り、この研修は私のこれからの学びの糧となり、とても有意義な経験となりました。一度きりの人生で、このような素敵な経験ができたことを嬉しく思います。

⑤徳島大学医学部医学科1年 安田 拓生



今回、初めての EAMSC 参加であり、最初はかなり緊張していましたが、いざ始まれば、毎日予定がたくさんあり、6 日間が一瞬で終わりました。時間が過ぎるのが早かったのは、最高の仲間が多かったというのがあります。日々、同じグループの人だけでなく、友達の友達という形でも知り合いが増え、その人とも会うたびに話し、それぞれの国、さらにその国の中でも文化や習慣がこう違うのだという事を知ることができました。さらに、帰国後も、連絡を取り続けており、さらに、お互いの文化について学んだりしています。

また、今回で、より、英語を勉強したい、医学をもっと学びたいという学習意欲も格段に上がりました。相手を理解するため、相手の話している内容を理解するため、文化の違いを理解するため、英語や医学を学ぶことは必要不可欠であると痛感させられました。

⑥琉球大学医学部医学科3年 佐戸 優希



今回は私にとって初めてのEAMSCへの参加でした。実際に国際会議が始まってしまうと毎日があっという間に過ぎていきました。毎日、同じグループのメンバーと顔を合わせ、お互いの国や文化について話していくうちに、仲良くなった子の国についてももっともっと知りたい！という気持ちが芽生えました。特に、宗教についての考え方について触れることができ、今までは何となく「三大宗教」を知った気になっていましたが、宗教がいかに他の国では生活の一部になっているのかがわかり、自分でもトランジットで寄ったマレーシアでモスクを見学させてもらうほど興味が湧きました。

これから仕事をしていく上で、恐らく自分とは異なる文化や環境で育った患者さんや医療者と会うことが今まで以上に増えるだろうと思います。そんな時、相談できる友人が世界中にいるというのは非常に心強く、一生交流の持てる仲間に出会えました。

⑦筑波大学医学群医学類2年 後藤 凜



今まで、大学の授業があるからと参加を諦めてきた国際会議。今回も一部被っていたものの行こうと決意したのは、いつか行ってみたいけど、1人で旅する自信はないしツアーで行くのもちょっと違う、と思っていたインドでの開催だったから。その他、Regional Chairpersonとして参加してみたい、AMSAについて色々知ってきたのに、AMSAを体現する国際会議が未経験なのはまずいと思ったからです。

最も勉強になったのは pharmacology の先生による、薬が原因の救急の Academic Workshop でした。処方箋が手書き、という日本とは異なるシステムのために起きたケースや、投与する薬を略称で指示したり医療者間のコミュニケーション不足だったり、という世界中どこでも起こりうるケースが紹介され、共通点や相違点について考えることができ、大変勉強になりました。

今までは、過去に参加した人の「楽しかった！」という声を根拠に他人に勧めてきましたが、今回参加したことで、より、多くの人に国際会議に参加してもらいたいと思いました。その最大の理由は、様々なアジア医学生と出会い、交流してほしいから。日本ほど医療が発展している国は少ないかもしれませんが、それは彼らが劣っているということではありません。日本の学生より遥かに、やる気と元気に満ちあふれ、勉強も、遊びも、全力です。そんなアジアのエネルギーに触れてほしいし、AMSA Family の優しさや温かさを知ってほしい。そして、いまの出会いが、将来、夢を実現するための繋がりになってくれたらいいなって思うから。

だから私はまた国際会議に参加したい(今度こそは全日程!)、もっとたくさんの人に国際会議に参加してほしいです。